

# 八清親和会 自治会役員の一とり言

令和3年7月28日

No32

八清親和会 副会長

吉田祐治

## “八清親和会掲示板”から見えてくる、昭島自治会員の「声なき声」！ (末端会員の声を拾う大切さ！)

今、皆さんの自治会掲示板はどのような状態になっていますか！  
実際に見て回り自身が所属しているブロック・自治会の掲示板の実態を把握していますか。  
現場を知ることが言うまでもなく、役員として大事なことです。  
見れば、今の状態が決して良いと思わないはず。また会員から直言や声が上がってきませんか！何故来ないのか考えたことがありますか！上がってこない問題に気付く必要もあります。  
以下、つづやきを参考にしてください。

先々週も町内8ヶ所ある、野外掲示板の掲示物貼り替えやメンテナンスをしていた時、1人の市内住民の方が話しかけてきました。「時々来た時に見るが、同じ昭島の自治会なのに、何故このように掲示物が違うのか」「私のところは、何も貼られていない」と、話していました。

筆者も、その方が言う通りだと思っています。なぜならば、この1年半、体力維持のため毎日1時間ほどのウォーキングをしています。このウォーキングコースは、飽きないようにと日々コースを変え、今では昭島市内ほぼ全域を歩きました。その時、ただ歩くのではなくウォーキングコースの自治会掲示板を見て、どのような掲示物が掲示されているかチェックし、我が自治会の参考が目的でした。

しかし、今は市内各自治会の野外掲示板を見て愕然とするだけです。自治会が活動していることが窺える掲示板は、97ある自治会で（マンション等の室内を除く野外掲示板のみ）数えるほどしかないことに、唯々唖然とするばかりです。まさに廃墟の掲示板そのものです。

このように直接話しかけられたのは、初めてではありません。昨年11月より掲示板を担当してから話しかけられたのは数回になります。

前担当からこのような話を聞きませんでしたから解かりませんでした。

今まで話しかけられた主な内容は、「ここはいつもきちんと貼られている。私の地区は1年近く何も貼られていない」あるいは、「私のところは、古いものが貼られたままで、放置されている」「今だに、冬のは貼られたままである」「破れ掛けたものがそのまま放置されている」等々耳にします。どこのブロック、自治会とは言いませんが、東部出張所や郵便局、何かの関係で来られる八清地域の方ではないことが分かりました。一部の方は、遠いところで拝島、中神南・北、東町等々の方でした。

八清親和会の掲示板は、今会員はほとんど見ないと思います。その理由は、会員に直接関係又は、必要ある情報は、2週間サイクルで発行回覧されている自治会報「八清親和会トピックス」や日々「ホームページの最新情報」で見ることが出来るため、昔のように特に掲示板を見る必要がないのです。

主に八清親和会の掲示板を見ているのは、自治会未加入住民や八清地域へ来る、又は地域を横断する他地域の人達のようなようです。

このように書いていますが、八清親和会も、新型コロナウイルス感染拡大が始まった昨年3月末から6月頃までは、自治会行事や活動の中止、自粛が相次ぎ、掲示板に貼る物がほとんどなくなってしまった時期がありました。

この時、ある会員から「このまま掲示板を空けたままでは、みっともない。また自治会が活動していないことを世間に見せつけているようなものだ」と、厳しいお叱りとアドバイスを頂きました。

この貴重な会員の声を受け止め、掲示板を活用するにはどうしたら良いか考え行動に移しました。その結果が、このように、今はいつも掲示物で埋まっている八清親和会の野外掲示板です。

下は、8ヶ所の野外掲示板の一部と、全掲示板に掲示されている掲示物の内容案内です。



今、掲示されている掲示物は、

- 一人ひとりの新型コロナウイルス感染症感染予防対策ポスター (首相官邸・厚生労働省発行)
- 令和3年昭和天満宮大祭 & 盆踊り大会中止お知らせ
- 八清子ども会紹介ポスター
- 同令和3年会員募集ポスター
- 洪水・土砂災害避難情報変更周知ポスター (昭島市洪水・土砂災害ハザードマップ) (内閣府・消防庁発行)
- 令和3年 八清親和会 紹介ポスター
- 「緊急事態宣言」発令周知、喚起ポスター (東京都発行)
- お店での感染予防対策ポスター (東京都発行)
- 第71回社会を明るくする運動ポスター
- 昭島市作成自治会加入案内ポスター

このように、新型コロナウイルス感染症感染拡大の中でも、会員始め地域住民へのお知らせ・案内・周知・紹介等のポスター、掲示物はいくらでもあります。

今や、貼るものがないなどと言って何も貼られていない又は、放置されている掲示板の自治会と、八清親和会の違いは何か！

それは、自治会の掲示板に対する基本的な考え方、位置付けではないかと思えます。

八清親和会も過去は、今のように自信を持って皆さんに紹介できる掲示板ではありませんでした。掲示板の見直しきっかけは、平成26年度から進めた「八清親和会の改善・改革」の中の「自治会活動の再活性化」「広報活動一2 掲示板の見直し」です。

この活動は、行事参加率を向上させるために、如何にして掲示板を活用するかの改善・改革でした。  
◇まず、八清親和会は「掲示板を、八清親和会の『顔』である」と位置付けました。  
◇また「『回覧板』と『掲示板』は、自治会の一丁目一番地」であり、時代が変わっても、今でも回覧と掲示板は、自治会の基本であることも再認識しました。

下のパワーポイントコピーの一部は、八清親和会が進めてきた改善改・改革のプロセスを記録した「掲示板の再見直し」の一部です。このほかに8ヶ所ある野外掲示板の人の流れも調べました。

## 広報活動－2 掲示板の再見直し・活用

- ・ 掲示板は、八清親和会の「顔」である
- ・ 掲示板を見ただけで、その自治会がどのような活動をしているか、また、どのような自治会かがわかる
- ・ 単なる掲示板と侮らず、この4つを注意して掲示する
  - ◇ 会員の必要な情報が掲示されているか？  
(掲示されずに遊んでいる掲示板はないか？)
  - ◇ 期日の過ぎた、色褪せた古いポスターがそのまま掲示されたままになっていないか？
  - ◇ 掲示物を見る人に見たいと思わせるよう掲示に工夫がされているか、バランス良く掲示されているか？
  - ◇ すべてが掲示できない場合、掲示する選別、優先順位がきちんとされているか？

### 八清親和会の掲示板を見る人達

- ・ 八清親和会会員
- ・ 自治会未加入の人達
- ・ 八清地域を利用する近隣・他地域の人達
  - ◇ 郵便局・市の東部出張所・八清公園・銀行・八清商店を利用する人達
  - ◇ 八清地域を横断して、JR東中神駅を利用する通勤・通学の近隣地域の人たち

この人たちが掲示板を見ている、または、見てもらうことを意識し掲示する

そして、今でも掲示板に関心を持ち見ていることが分かりました。

今や八清親和会行事のお花見、夏祭り、餅つき大会等は、来場者・関係者で300人～500人～1,000人以上集まる規模になりました。これは会員以外に地域住民、地域外の人が掲示板を見たり、口コミ、紹介等で来場しているようです。決して掲示板を侮ってはいけないということです。

いろいろ厳しい事をつぶやきましたが、昭島市の自治会の中でもきちんと掲示板の掲示物がメンテナンスされ、活動がうかがえる自治会を紹介しましょう。

それは、我が自治会の飛び会員がいる「つつじが丘の自治会」です。資料を届けるためにほぼ2週間サイクルでつつじが丘団地に行った時、各自治会の掲示板を見ていますが、それなりに掲示板を活用しています。

また、時々立川にも行きますが、その途中立川自治連の富士見町、柴崎町、曙町の各自治会の掲示板を見ますが、掲示物が多くななくても、各自治会きちんと掲示物のメンテナンスや貼替えが行われており放置はされていません。そして活動の気配が見えます。

昭島市の自治会とは雲泥の差があります。

それこそ、同じ自治会でも昭島市と立川市の自治会は、こうも違うのかと、先につぶやいた一昭島市民の話しかけてきた内容と重ね合わせてしまいます。

これは、昭島市の自治連ブロック長に相当する支部長の指示か意識の高さか、各自治会の意識の高さは分かりませんが、参考になり、参考にしています。

八清親和会は、今年から「自治会の広義の広報」と位置付け、従来の掲示板、回覧と会報・ホームページ、行事・活動お知らせ・報告等作成、発信の役割分担から、令和の新しい自治会を目指した「包括的広報活動」へ切り替え、分割分担していた掲示板・回覧を広報に取り込み、会報・ホームページ、掲示板、回覧等を総合的にまとめ一体化、一本化し、IT・デジタルを駆使した「自治会の包括的広報活動」へ変革しました。

**このままでは、昭島市の自治会は衰退するばかりです。**

以上、自治会の一役員のつぶやきです。

以上